

区内開催競技ホッケーの普及・啓発

1. 概要

平成27年9月、大田区東海一丁目にある、都立大井ふ頭中央海浜公園の第二球技場を改修して、東京2020大会のホッケー競技のサブピッチとして使用することが決まった。

地元で競技が開催されることは区民が大会を身近に感じる貴重な機会となるため、ホッケーの普及・啓発に取り組み、区民の気運醸成を図った。

2. 主な取り組み

年度	取り組み事項
平成28年	さくらJAPANリオ2016大会報告来庁、ホッケー体験会（区民スポーツまつり）、ホッケー体験教室（2回）、トークショー（国際都市おおたフェスティバル）
平成29年	ホッケー体験会（子どもガーデンパーティー、おおたふれあいフェスタ、区民スポーツまつり）、ホッケー体験教室（6回）、ホッケー体験教室（4回）
平成30年	ホッケー体験会（おおたアクションデー、おおたふれあいフェスタ、区民スポーツまつり）、ホッケー体験教室（10回）、リーフレット・うちわ等広報PR物品制作
令和元年	ホッケー体験会（おおたアクションデー夏、おおたふれあいフェスタ等）、ホッケー応援動画制作、競技場完成式典及びテストイベント区民観戦、さくらJAPAN合宿受入れ（ゆいっつ）
令和2年	東京2020大会関連展示キャラバン（特別出張所、図書館）、日本ホッケー協会と連携協定締結
令和3年	日本代表選手紹介等展示、競技日程、まちの装飾（蒲田駅東口仮囲い）、さくらJAPAN・サムライJAPAN東京2020大会報告来庁

● 大井ホッケー競技場

平成30年1月から工事が始まり、令和元年8月には、日本やインドをはじめ大会出場国によるテストイベント「READY STEADY TOKYO」が開催された。テストイベントの目的は、組織委員会が事前に運営方法をチェックするほか、競技の魅力を広める要素があり、大田区からも日本ホッケー協会から約800名の区民や関係者が観戦に招かれた。

- ・ノースピッチ（品川区）
- ・座席数約10,000席（常設約2,600席）
- ・サウスピッチ（大田区）
- ・座席数約5,000席（常設約500席）



大井ホッケー競技場完成披露式典



東京2020大会

● 平成28年度～令和元年度

ホッケー競技の魅力を実際に体感してもらうため、区の大規模イベントでの体験会や学校と連携した体験教室を多く開催した。また、過去大会に出場した選手を招いたトークショーを行い、オリンピックとホッケーを身近に感じてもらい、大会に向けた気運を醸成した。



ホッケー体験会
（おおたふれあいフェスタ）



ホッケー教室



トークショー
（おおたアクションデー夏）

● 令和元年度～令和3年度

イベント等で集客し訴求する方法に代えて、一般の方にも認知してもらえるよう、ホッケー応援動画を制作してSNS等で放映したほか、区民が日頃から訪れると特別出張所や図書館で展示を行うなど、プロモーション活動に力を注いだ。大会期間中は、区役所本庁舎で日本代表選手の紹介、蒲田駅東口仮囲いに装飾を行った。



ホッケー応援動画



日本代表展示@本庁舎
（7月14日～8月19日）



蒲田駅東口仮囲い装飾
（7月5日～9月10日）

【参考】東京2020大会成績

- ・サムライJAPAN（男子） 予選敗退（グループA6位 1分4敗）
- ・さくらJAPAN（女子） 予選敗退（グループB6位 5敗）